

Course title <English>	臨床研究特論 I Clinical research advanced I		Affiliated department, Job title,Name	Agency for Health, Safety and Environment Professor,KAWAMURA TAKASHI	
Target year	Professional degree students	Number of credits	1	Course offered year/period	2017/The first half of second semester
Day/period	月 6	Class style	Lecture	Language	Japanese and English
[Outline and Purpose of the Course]					
<p>(1) 臨床研究計画法I・IIで履修した研究方法について掘り下げる。 (2) 学生から臨床研究の計画・実施・利用に関する疑問点を提示し、教員と学生がいっしょに検討する。 (3) 教員から臨床研究の計画・実施・利用に関する諸問題を提示し、学生が検討する。</p>					
[Course Goals]					
各種研究方法について、その背景や考え方、利用の仕方や限界などについて研究事例を通して深く理解する。					
[Course Schedule and Contents]					
<p>(1) 用量反応関係の過小評価（誤分類と回帰希釈） (2) RCTにおけるP値（サンプルサイズ） (3) RCTによる副作用の検証（ITT解析その他） (4) 診断研究における感度（患者スペクトル） (5) 統計学的有意と臨床的有意 (6) 多変量解析の特性（関数モデル） (7) メタアナリシスの特性 (8) 図表の作り方、論文の書き方</p>					
[Class requirement]					
・MCRコース限定（選択）					
[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]					
・意見発表の積極性、説明の明快さ					
[Textbook]					
Not used					
[Reference books, etc.]					
<p>（Reference books） 川村 孝 『臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント』（医学書院）（臨床研究のデザイン、運営、解析、論文執筆の方法論とコツを解説） 川村 孝 『エビデンスをつくる：陥りやすい臨床研究のピットフォール』（医学書院）（臨床研究のデザインや解析の失敗談とその対策を紹介） Hulleyら 『医学的研究のデザイン』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）</p>					
----- Continue to 臨床研究特論 I(2) -----					

臨床研究特論 I(2)

Motulsky 『数学いらずの医科統計学』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
Kats 『医学的研究のための多変量解析』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

・自らの研究を行うだけでなく、指導者や同僚の研究を積極的に手伝う。

(Others (office hour, etc.))

臨床研究特論IIと連携する。

*Please visit KULASIS to find out about office hours.